

患者様の安全を守るための取り組み

身体的拘束最小化に対する指針

当院では、患者様が安心して過ごせることを大切にし、身体拘束をできる限り行わないケアに取り組んでいます。

○私たちの考え方

- ・身体的拘束は、できる限り行わないよう努めています。
- ・多職種による身体的拘束最小化チームを編成しています。

○やむを得ない場合について

ご本人の安全を守るために、やむを得ず対応が必要な場合には以下の点を十分に検討し、たうえで行います。

- ・危険が差し迫っているか
- ・他に方法がないか
- ・必要な時間に限られているか

○実施する場合の対応

- ・医師の判断のもと、慎重に行います。
- ・状況を確認しながら、できるだけ早く解除できるよう努めます。
- ・可能な範囲で、ご本人・ご家族へご説明いたします。

○日頃の取り組み

- ・転倒予防や環境づくりの工夫
- ・見守りや声かけの充実
- ・認知症ケアの工夫
- ・定期的なラウンドやカンファレンスを行っています。
- ・職員の研修・意識向上

令和8年4月20日
医療法人 友仁会
友仁山崎病院
院長 高橋 雅士